

家畜衛生だより

From 中央家保 牛用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax: 043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会



まだ提出されていない方は、

定期報告書の提出をお願いします！

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、中央家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしくお願いいたします。

報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所までご連絡ください。

今年度の定期検査を行う地域は、
千葉市です。

実施検査:ヨ一ネ病
実施時期:決まり次第お知らせします。

～令和5年度中央家畜保健衛生所 新体制～

千葉庁舎

所長 小川 明宏 ☆
次長 笠井 史子 ☆

(☆:転入者)

【防疫課】

主幹 櫻井 紀夫
上席専門員 猪熊 道仁 ☆
主任技師 石原 裕介 ☆
主任技師 角田 千春

【衛生指導課】

課長 渡邊 和彦 ☆
専門員 松原 芳絵
専門員 渡邊 世奈
主任技師 中村 みどり
技師(会計年度) 中根 崇

【庶務課】

課長 岡崎 晃士
主事 鈴木 悠介 ☆

退職者:青木 ふき乃、石原 勇人

転出者:猪俣 一陽、渡邊 なな、
本多 芙友子、不破 友介

佐倉庁舎

次長 松本 敦子

【細菌ウイルス課】

課長 大坪 岳彦
上席専門員 西川 潤
専門員 三浦 良彰
専門員 本多 芙友子 ☆
技師 後藤 花菜 ☆
技師 大矢 美帆

【病理生化学課】

課長 石原 勇人 ☆
専門員 小林 大誠
技師 清水 耕平 ☆
技師 島田 果歩
技師 巖眞 卓也 ☆

本年度も引き続きどうぞ宜しくお願い致します

新年度 所長挨拶

平素より家畜保健衛生所業務の推進に御理解、御協力をいただき心よりお礼申し上げます。

このたび青木所長の後任として中央家畜保健衛生所長に着任しました小川です。引き続きよろしくお願いいたします。

さて、今シーズンの高病原性鳥インフルエンザは、令和4年10月28日に岡山県の採卵鶏農場の発生に始まり、全国で26道県83事例の発生を認め、約1,740万羽が防疫措置対象となりました。当県でも令和4年11月26日から令和5年2月10日にかけて6事例の発生を認め、約64.5万羽が防疫措置対象となりました。渡り鳥が北帰行する5月の連休まで、鳥インフルエンザの発生リスクは高い状況が続きますので、引き続き飼養家さんの異状の早期発見と早期通報をお願いいたします。

豚熱については、これまでに国内で18都県86事例約35.7万頭が防疫措置の対象となっています。本県での発生はありませんが、本年3月には茨城県の発生農場から豚を導入していた県内1農場98頭が疑似患畜として処分されました。また、茨城県稲敷市では野生イノシシの感染も確認されており、本県における発生リスクは非常に高まっています。県では民間獣医師や知事認定獣医師に加え、登録飼養衛生管理者による豚熱ワクチン接種制度を開始し、ワクチン接種体制を強化していきます。農場ではワクチンの的確な接種と初乳の十分な給与、飼養衛生管理基準の遵守といった複合的な対策と、万一農場で発生した場合に備えて埋却地の確保をお願いいたします。

牛については、本年度は千葉市でヨーネ病の定期検査を実施いたします。また、慢性疾病の低減のため牛ウイルス性下痢、牛伝染性リンパ腫の検査、死亡牛の牛海綿状脳症サーベイランスを家畜診療所等の御協力のもとに実施していきます。

当所からは、家畜伝染病の発生予防を目的に、飼養衛生管理基準の徹底や衛生状況の把握のため、農場への訪問や電話連絡をさせていただくことがあります。御多忙中とは存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

これからも、生産現場と情報を密にして当地域の畜産を家畜衛生の分野から支えて参る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

中央家畜保健衛生所 所長 小川 明宏

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090

家畜衛生だより

From 中央家保 めん山羊用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax: 043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会

まだ提出されていない方は、 定期報告書の提出をお願いします！

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、中央家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしく申し上げます。

報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所までご連絡ください。

～令和5年度中央家畜保健衛生所 新体制～

千葉県舎

所長 小川 明宏 ☆
次長 笠井 史子 ☆

(☆:転入者)

【防疫課】

主幹 櫻井 紀夫
上席専門員 猪熊 道仁 ☆
主任技師 石原 裕介 ☆
主任技師 角田 千春

【衛生指導課】

課長 渡邊 和彦 ☆
専門員 松原 芳絵
専門員 渡邊 世奈
主任技師 中村 みどり
技師(会計年度) 中根 崇

【庶務課】

課長 岡崎 晃士
主事 鈴木 悠介 ☆

退職者: 青木 ふき乃、石原 勇人
転出者: 猪俣 一陽、渡邊 なな、
本多 芙友子、不破 友介

佐倉庁舎

次長 松本 敦子

【細菌ウイルス課】

課長 大坪 岳彦
上席専門員 西川 潤
専門員 三浦 良彰
専門員 本多 芙友子 ☆
技師 後藤 花菜 ☆
技師 大矢 美帆

【病理生化学課】

課長 石原 勇人 ☆
専門員 小林 大誠
技師 清水 耕平 ☆
技師 島田 果歩
技師 巖眞 卓也 ☆

本年度も引き続きどうぞ宜しくお願い致します

新年度 所長挨拶

平素より家畜保健衛生所業務の推進に御理解、御協力をいただき心よりお礼申し上げます。

このたび青木所長の後任として中央家畜保健衛生所長に着任しました小川です。引き続きよろしくお願いいたします。

さて、今シーズンの高病原性鳥インフルエンザは、令和4年10月28日に岡山県の採卵鶏農場の発生に始まり、全国で26道県83事例の発生を認め、約1,740万羽が防疫措置対象となりました。当県でも令和4年11月26日から令和5年2月10日にかけて6事例の発生を認め、約64.5万羽が防疫措置対象となりました。渡り鳥が北帰行する5月の連休まで、鳥インフルエンザの発生リスクは高い状況が続きますので、引き続き飼養家さんの異状の早期発見と早期通報をお願いいたします。

豚熱については、これまでに国内で18都県86事例約35.7万頭が防疫措置の対象となっています。本県での発生はありませんが、本年3月には茨城県の発生農場から豚を導入していた県内1農場98頭が疑似患畜として処分されました。また、茨城県稲敷市では野生イノシシの感染も確認されており、本県における発生リスクは非常に高まっています。県では民間獣医師や知事認定獣医師に加え、登録飼養衛生管理者による豚熱ワクチン接種制度を開始し、ワクチン接種体制を強化していきます。農場ではワクチンの的確な接種と初乳の十分な給与、飼養衛生管理基準の遵守といった複合的な対策と、万一農場で発生した場合に備えて埋却地の確保をお願いいたします。

牛については、本年度は千葉市でヨーネ病の定期検査を実施いたします。また、慢性疾病の低減のため牛ウイルス性下痢、牛伝染性リンパ腫の検査、死亡牛の牛海綿状脳症サーベイランスを家畜診療所等の御協力のもとに実施していきます。

当所からは、家畜伝染病の発生予防を目的に、飼養衛生管理基準の徹底や衛生状況の把握のため、農場への訪問や電話連絡をさせていただくことがあります。御多忙中とは存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

これからも、生産現場と情報を密にして当地域の畜産を家畜衛生の分野から支えて参る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

中央家畜保健衛生所 所長 小川 明宏

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090

家畜衛生だより

From 中央家保 馬用



中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)
Fax: 043-286-0090
(公社)千葉県畜産協会

まだ提出されていない方は、 定期報告書の提出をお願いします！

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、中央家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしく申し上げます。

報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所までご連絡ください。

～令和5年度中央家畜保健衛生所 新体制～

千葉県舎

所長 小川 明宏 ☆

(☆:転入者)

次長 笠井 史子 ☆

【防疫課】

主幹 櫻井 紀夫
上席専門員 猪熊 道仁 ☆
主任技師 石原 裕介 ☆
主任技師 角田 千春

【衛生指導課】

課長 渡邊 和彦 ☆
専門員 松原 芳絵
専門員 渡邊 世奈
主任技師 中村 みどり
技師(会計年度) 中根 崇

【庶務課】

課長 岡崎 晃士
主事 鈴木 悠介 ☆

退職者: 青木 ふき乃、石原 勇人

転出者: 猪俣 一陽、渡邊 なな、
本多 芙友子、不破 友介

佐倉庁舎

次長 松本 敦子

【細菌ウイルス課】

課長 大坪 岳彦
上席専門員 西川 潤
専門員 三浦 良彰
専門員 本多 芙友子 ☆
技師 後藤 花菜 ☆
技師 大矢 美帆

【病理生化学課】

課長 石原 勇人 ☆
専門員 小林 大誠
技師 清水 耕平 ☆
技師 島田 果歩
技師 巖真 卓也 ☆

本年度も引き続きどうぞ宜しくお願い致します

新年度 所長挨拶

平素より家畜保健衛生所業務の推進に御理解、御協力をいただき心よりお礼申し上げます。

このたび青木所長の後任として中央家畜保健衛生所長に着任しました小川です。引き続きよろしくお願いいたします。

さて、今シーズンの高病原性鳥インフルエンザは、令和4年10月28日に岡山県の採卵鶏農場の発生に始まり、全国で26道県83事例の発生を認め、約1,740万羽が防疫措置対象となりました。当県でも令和4年11月26日から令和5年2月10日にかけて6事例の発生を認め、約64.5万羽が防疫措置対象となりました。渡り鳥が北帰行する5月の連休まで、鳥インフルエンザの発生リスクは高い状況が続きますので、引き続き飼養家さんの異状の早期発見と早期通報をお願いいたします。

豚熱については、これまでに国内で18都県86事例約35.7万頭が防疫措置の対象となっています。本県での発生はありませんが、本年3月には茨城県の発生農場から豚を導入していた県内1農場98頭が疑似患畜として処分されました。また、茨城県稲敷市では野生イノシシの感染も確認されており、本県における発生リスクは非常に高まっています。県では民間獣医師や知事認定獣医師に加え、登録飼養衛生管理者による豚熱ワクチン接種制度を開始し、ワクチン接種体制を強化していきます。農場ではワクチンの的確な接種と初乳の十分な給与、飼養衛生管理基準の遵守といった複合的な対策と、万一農場で発生した場合に備えて埋却地の確保をお願いいたします。

牛については、本年度は千葉市でヨーネ病の定期検査を実施いたします。また、慢性疾病の低減のため牛ウイルス性下痢、牛伝染性リンパ腫の検査、死亡牛の牛海綿状脳症サーベイランスを家畜診療所等の御協力のもとに実施していきます。

当所からは、家畜伝染病の発生予防を目的に、飼養衛生管理基準の徹底や衛生状況の把握のため、農場への訪問や電話連絡をさせていただくことがあります。御多忙中とは存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

これからも、生産現場と情報を密にして当地域の畜産を家畜衛生の分野から支えて参る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

中央家畜保健衛生所 所長 小川 明宏

お問い合わせ・ご連絡は、千葉県中央家畜保健衛生所まで
TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送) FAX. 043-286-0090